

# 日港労連・港荷労協 26春闘 速報第6号

(発行元) 日本港湾労働組合連合会書記局・港湾荷役事業関係労働組合協議会事務局

住所 144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2 日港福 3階 電話 03-3732-5503

ホームページ <http://nikkororen.jp/> (発行人 古澤 隼実)

## 4 / 1 7 第 2 回港荷団交 (通算 5 回目)

### 「行動の自由の留保」は維持、円満合意に向けて待つ！！

1. 第2回港荷労使団交（通算5回目）を4月17日14時00分より、ロイヤルホール横浜にて開催した。
2. 冒頭業側より、前回3月26日の第1回港荷団交で現在も元請けと料金交渉を行っている会員店社もあり、まだ統一した回答を本日引き出すことが出来ず、改めて全ての項目を留保させていただきたくお願い申し上げますと説明があった。
3. 組合側として中央港湾団交では仮協定を確認が、検証期間を設けている中で港荷労使の交渉が注目の的となっている。料金の値上げの根拠は賃上げで答えて欲しいと強く訴えた。検証期間中に我々の港荷団交が注目されている。まずは円満合意にもっていき、港湾春闘の中核となるうえで、本日労務委員長から発言された内容について真摯に重く受け止め、「行動の自由の留保」は維持するが労使円満合意が出来るよう次回開催までに回答を待つと発言があった。
4. 業側より、真摯に受け止めて真剣に回答をしたい為、今一度時間をかしていただきたいと発言され、第2回港荷労使団交を終えた。
5. 次回の第3回港荷団交（通算6回目）は4月23日（木）ロイヤルホール横浜に於いて開催することを確認し、第2回団交を14時15分に終了した。